

山菜（たけのこ）発生環境整備事業

取組に至る背景・事業の目的

当会は「遊休林地の利活用により地域の振興と里山の保全を行う」という目的の下に結成された地区全戸加入の組織で、南小谷県有林の利活用を行うため、たけのこ狩りやきのこの駒打ち体験、巨木見学など、森林資源を活用した様々なイベントを開催している。

南小谷県有林はネマガリダケをはじめとする山菜が豊富にあり、平成18年から地元案内人が5, 6名のグループを案内する形で、たけのこ狩りツアーを開催してきた。ツアーを開始して以来年々参加者が増加してきているものの、近年参加者が竹やぶの中で道に迷う事案や、竹やツルの繁茂による負傷といった事案が起きており、安全対策上早急な整備が求められていた。

たけのこ狩り実施場所における管理道整備、発生環境整備の実施により、南小谷県有林の自然環境維持および観光地としての魅力の向上を図り、県有林のさらなる利活用を推進することを本事業の目的とした。

事業内容

南小谷県有林一帯の自然環境を維持しつつ観光地としての魅力を高めるとともに、更なる県有林の利活用を推進するため、山菜（たけのこ）林内の管理道と山菜（たけのこ）の発生環境整備を次のとおり行った。

○管理道整備

目的： 竹林における道迷い防止

内容： 延長900m 幅員2m

※幅員1mに加え、笹が覆い被さらないようにするため余裕幅を両側0.5m設けた

○たけのこ発生環境整備

目的： 適度な日当たりと養分の確保によるたけのこの質・量の向上

県有林利活用範囲の拡大とそれに伴う交流人口（観光客）の増加

内容： 除伐・つる切り 面積5ha



【除伐による管理道整備】

事業効果

県と結んだ「南小谷県有林の利活用に関する協定書」に基づき、県有林の利活用と自然環境の維持が図られた。管理道の整備により参加者がたけのこ狩り実施場所から外に迷い出してしまう危険性がほとんどなくなった。また管理道整備、除伐、つる切りにより日当たりが良くなり、特に道沿いを中心にたけのこの発生が多くなった。その結果、年配の方や足の強くない方でも十分な量のたけのこを安全に採取できるようになった。たけのこ狩りツアーも平成26年度は前年に比べ23%増加し、163名が参加した。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

たけのこ採取エリアの周囲に整備した管理道の他に、入口から25mごとに登山道と直交した道を整備し、採取エリア全面を有効に使えるようにした。

竹やツルにより視界が非常に悪かったこともあり、管理道の敷設場所を定めるのに何度かやり直しを強いられた。

【選定のポイント】

今後も体験型ツアーの充実等により更なる県有林の利活用を推進するとともに、継続的な維持管理が可能となる体制づくりが期待できる。

団体名	深山遊園北野の郷（小谷村）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	会長 小林規朗 090-4374-3688	事業費	1,869,000円
		支援金額	1,401,000円